

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日  
平成 28 年 3 月 29 日

事務事業名		県道路整備促進協議会参画事業		事業区分		担当	
政策体系		政策体系上の位置付け		新規/継続	継続	事務事業No.	040601000358
総合計画の施策名		0406	道路整備と交通網の充実	単独/補助	単独	所属課	060101
政策名		04	快適で潤いのある生活環境づくり	主要事業	対象外	建設課	
施策名		06	道路整備と交通網の充実	市長マニフェスト	対象外		
基本事業名		01	国・県道の整備促進	未来PJ事業	対象外	グループ	維持管理G
		財務会計上の位置付け		合併建設計画事業	対象外		
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	事業期間
	01	08	01	01	02	00	単年度繰返し (平成18年度~)
法令根拠							土木総務事業
							← 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
手段	県民の総意に基づき、道路の整備改善を促進し、道路技術の発展を図ることを目的とする。 1. 道路整備事業の予算獲得に関すること 2. 道路整備事業実施の援助に関すること 3. 道路愛護思想の普及及び交通道德の高揚に関すること 4. 道路整備事業に対する関係官庁及び諸団体との連絡に関すること 5. 学会 協会その他本会の目的に適合する団体に対する協力 6. その他本会の目的達成に必要な事項	大会・要望活動・研修会への参加	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
大会・要望活動・研修会への参加	大会・要望活動・研修会への参加数	回	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
茨城県内の道路	茨城県内道路延長	千Km	56,257.00	56,248.81	56,248.81	56,248.81	56,248.81
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
安全快適な道路の整備	茨城県内道路改良率	%	41.24	41.60	42.00	42.50	43.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	期間限定 総投入量	
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)		
投入	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	31	31	31	31	31	31
事業費計(A)			千円	31	31	31	31	31	
量	人件費	正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人	3.00人	3.00人	
		途へ業務時間	時間	45.00	41.00	40.00	40.00	40.00	
		人件費計(B)	千円	131	119	116	116	116	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	162	150	147	147	147	

27年度事業費 実績 (千円)

28年度事業費 予算 (千円)

事業費の内訳	19 負担金補助及び交付金	31		19 負担金補助及び交付金	31			
	合計	31		合計	31			

(4) 当該年度の実施内容

28年度の事業内容

29年度の事業内容

30年度の事業内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要事業</li> <li>・市長マニフェスト</li> <li>・未来PJ事業</li> <li>・合併建設計画事業</li> </ul>			

事務事業名	県道路整備促進協議会参画事業	事務事業No.	40601000358	所属課	建設課
-------	----------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
 全国レベルまたは県を中心とした組織に参画し道路整備の促進を図る。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
 特になし。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	財源の確保などを目的とした国・県等への働きかけにより県内道路の整備促進を図ることとなり、結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	茨城県及び関係市町村で組織する協議会なので、参画することは妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	要望活動をよりいっそう行う必要があるが、財政事情により向上の余地はない。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	県内道路の整備率を上げられない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名	<input type="checkbox"/> 余地がない	県内の市町村等の協議会への参画事業であるため、市単独で統廃合をすることは困難である。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	定額負担金により運営されている組織であり削減は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	協議会の参画であり受益者負担にじままない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	県内4市町村による協議会参画事業であるが、研修等の機会に道路建設の技術向上を目指す。																		
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (複数回答可) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> </table>	成果	向上				維持		○		低下						削減	維持	増加
成果	向上																		
	維持			○															
	低下																		
		削減	維持	増加															
(6) 事務事業優先度評価結果																			
成果優先度評価結果																			
コスト削減優先度評価結果																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持)      C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う)      D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>